

# 2014

あ い ち

**食 育**

い き い き

レ ポ ー ト

平成26年6月  
愛知県食育推進会議

## はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人ひとりが食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、平成23年5月に第2次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2015」を作成しました。

このプランで掲げた「食育の実践による健康で活力のある社会の実現」のために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々に連携・協力しながら継続的な県民運動として展開しています。

このたび、平成25年度に行われた県内の食育推進の取組の中から、特に①新規性のある取組、②複数の関係者が連携して行った取組、③代表的な取組をレポートとして取りまとめました。

本書がみなさんの共通認識を深め、日本型食生活の普及など、食育の効果的な推進の一助となれば幸いです。

# 目 次

I 「あいち食育いきいきプラン2015」について .....	1
II 主な取組の状況	
1 食を通じて健康な体をつくるために .....	3
2 食を通じて豊かな心を育むために .....	13
3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために.....	22
4 食育を支える取組 .....	27

## マークの説明



は、健康な体



は、環境に優しい暮らし



は、豊かな心



は、食育を支える取組

を表現しています。

# 主な取組の状況

## 1 食を通じて健康な体をつくるために



### (1) バランスのとれた規則正しい食生活の実践

- ◆ 節分における乳児の食育活動 [名古屋市立東志賀保育園] …… 3
- ◆ 食育活動 ～ 学校全体での取り組み ～ [東郷町立高嶺小学校] …… 4
- ◆ 小学校出前講座 [大府市健康づくり食生活改善協議会] …… 4
- ◆ 小中学校でのこころとからだの健康教育  
    [公益財団法人 愛知県健康づくり振興事業団] …… 5
- ◆ 「親子で早寝、早起き、朝ごはん」 [岡崎市立河合中学校 PTA] …… 5
- ◆ 学校食育資料（高校生向け資料）を活用した高等学校等における食育 [愛知県] …… 6
- ◆ 健康感じる弁当の提供 [大府市、大府市内飲食店] …… 6
- ◆ マタニティークッキング [東海市] …… 7
- ◆ 60 歳からの栄養・健康教室 [みよし市、みよし市食生活改善推進員] …… 7

### (2) 生活習慣病や過度な痩身等の予防

- ◆ 子どもの健康な体作り [津島市立津島幼稚園（国公立幼稚園長会）] …… 8
- ◆ 保健師を招いた歯みがき指導とうがい [名古屋市立楠西幼稚園（国公立幼稚園長会）] …… 9
- ◆ 望ましい体格を知るためのリーフレットの作成、及び配布  
    [小牧市保健センター、健康日本21こまき計画「栄養・食生活部会」] …… 9
- ◆ 特定給食施設巡回指導 [愛知県] …… 10
- ◆ もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト [一般社団法人 愛知県歯科医師会] …… 10

### (3) 食の安全に関する信頼の構築

- ◆ 食品表示制度について研修会を開催 [愛知県] …… 11
- ◆ 食品衛生の専門家「ハサップ博士と行く、食品衛生ミステリーツアー」  
    [愛知県、厚生労働省・東海北陸厚生局、森永乳業株式会社 中京工場] …… 11
- ◆ 平成 25 年度 漬物技術研究会における講演 [愛知県、公益社団法人 愛知県漬物協会] 12
- ◆ 福祉医療公開講座「生きながら生まれ変わる」 [一般社団法人 愛知県薬剤師会] …… 12

## 2 食を通じて豊かな心を育むために



### (1) 食を楽しむゆとりの確保

- ◆ 学校で食べる給食っておいしいね [知多市立梅が丘幼稚園 (国公立幼稚園長会)] …… 13
- ◆ みんなで食べよう! “おうちでごはんの日を呼びかけ” [愛知県] …… 13
- ◆ みんなでお父さんにごはんを作ろう! [あいち食育サポート企業団] …… 14
- ◆ ふれあい昼食会 [一宮市健康づくり食生活改善協議会] …… 14

### (2) 体験や交流を通じた食の理解促進

- ◆ 栽培・収穫・クッキングなど実体験を通じた食とのふれあい  
[安城市立桜井保育園、美土里保全会] …… 15
  - ◆ 野菜の栽培と稲作の体験 [認定こども園 岩滑こども園] …… 15
  - ◆ 稲づくり農業体験の実施 [西三河農業協同組合] …… 16
  - ◆ たべまるキャラ弁コンテスト [豊田市] …… 16
  - ◆ 愛西市生涯学習講座の中の佐屋高校において開催する講座  
「夏野菜の基礎知識」、「果菜類の基礎知識」 [愛西市] …… 17
  - ◆ 食農体験講座「種蒔きからそば打ちまで」 [豊川市・豊川市農業委員会] …… 17
- ### (3) 食文化や食事作法等の理解と継承
- ◆ 子どもお抹茶会 [知多市立東部幼稚園 (国公立幼稚園長会)] …… 18
  - ◆ アレルギー食・多様な食文化への理解促進 [刈谷市] …… 18
  - ◆ 学校給食週間 [岩倉市] …… 19
  - ◆ 愛知を食べる学校給食の日の実施と児童生徒の畑見学 [大治町給食主任会] …… 19
  - ◆ 栄養教諭・学校栄養職員を対象とした食農教育研修会 [JA愛知中央会] …… 20
  - ◆ ヘルシーセミナー『孫にも伝えたい伝統食 (もち)』 [公益社団法人 愛知県栄養士会] …… 20
  - ◆ 伝統野菜の継承事業 [清須市特産物振興委員会] …… 21

## 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



### (1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践

- ◆ 給食における食べ残しを減らす指導 [安城市立東栄幼稚園 (国公立幼稚園長会)] …… 22
- ◆ エコ・クッキング講座 [田原市] …… 22

- (2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の促進
  - ◆ 田んぼアート [あいち尾東農業協同組合、名古屋産業大学、尾張旭市] …… 23
  - ◆ 学校給食への地場産物の活用 [長久手市] …… 23
  - ◆ もぎたて梅サワー講習会 [食環境プランニング] …… 24
  - ◆ 産官学連携事業 ミラクルGREEN [安城市農畜産物特産品協議会] …… 24
  - ◆ 碧南のにんじん収穫体験交流会 [生活協同組合コープあいち] …… 25
- (3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底
  - ◆ GAP（農業生産工程管理）手法の導入などによる環境に配慮した取組 [愛知県] …… 26
  - ◆ 食品製造廃棄物の飼料化に向けて [愛知県] …… 26

#### 4 食育を支える取組



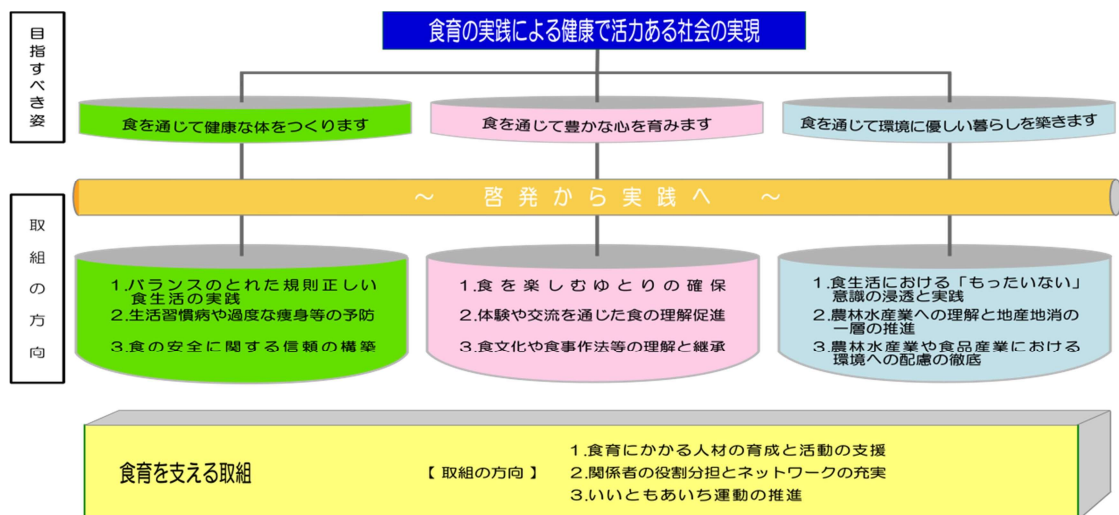
- (1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実
  - ◆ 栄養指導 [東郷町立東郷中学校] …… 27
  - ◆ 乳幼児・児童のための食の危機管理研修会 [公益社団法人 愛知県栄養士会] …… 28
  - ◆ 食育推進ボランティアの活動支援 [愛知県] …… 28
  - ◆ 輝きネット・あいち技人認定式を開催 [農村輝きネット・あいち] …… 29
  - ◆ 食育教材の開発 [愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会] …… 29
- (2) 関係者の役割分担とネットワークの充実
  - ◆ 地域食育推進支援会議の開催 [愛知県] …… 30
  - ◆ 第21回知立市福祉健康まつり食育コーナー
    - [知立市保健センター、食育推進ボランティアグループ米太郎、コープあいち、愛知県] …… 30
  - ◆ あいち食育いきいきミーティングを大学で初開催 [愛知県] …… 31
  - ◆ カウガールスクール [酪農教育ファーム認証農家3戸、愛知県酪農農業協同組合] …… 31
- (3) いいともあいち運動の推進
  - ◆ いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進 [愛知県] …… 32
  - ◆ いいともあいち魅力発信事業等による消費者への運動のPR [愛知県] …… 32
  - ◆ 地産地消・農商工連携ビジネスフェアの開催 [愛知県] …… 33
  - ◆ いいともあいち推進店の登録推進 [愛知県] …… 33

# I 「あいち食育いきいきプラン2015」について

「あいち食育いきいきプラン2015」（第2次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づき、愛知県食育推進会議が第1次食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン」の基本理念や成果を継承しつつ、更に食育を推進するための、次のステップとして平成23年5月に作成したものです。

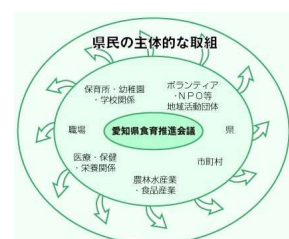
## 1 目指すべき姿と基本コンセプト

- このプランでは、前プランからの本県の特色である「体」、「心」、「環境」に着目した食育を継承することにより、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- 規則正しい食生活の実践などにより「健康な体をつくる」ことはもとより、感謝の気持ちや食を大切に作る心といった「豊かな心を育む」こと、食べ残しや食品の廃棄量を減らすなどの「環境に優しい暮らしを築く」ことを基本としています。
- 前プランの様々な取組により高まった県民の関心をさらに高めるとともに、次のステップとして、「啓発から実践へ」を基本コンセプトとし、県民一人ひとりの食育の実践を関係者が支援して、県民が主体的に実践する取組へとつなげていきます。



## 2 取組の特徴

- あらゆる世代の県民が生涯にわたって健全な食生活を送るためには、生涯を通じた中断のない食育が重要です。このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めています。
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。






### 3 県や関係団体等の取組

食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

以下では、取組を働きかける生活場面を下記のとおり表示

#### ■取組の体系

		保幼	学校	職場	地域	
 食を通して健康な体をつくるために	<b>バランスのとれた規則正しい食生活の実践</b>	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立 イ 学校における小中学生への食に関する指導の充実 ウ 小中学生の食育のための家庭への支援 エ 高校における食育の充実 オ 青年期以降における健全な食生活の実践の支援 カ 「妊産婦のための食生活指針」の推進 キ 高齢期における食による健康維持の推進	●	●	●	
	<b>生活習慣病や過度な痩身等の予防</b>	ア 子どもの肥満予防等の推進 イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進 ウ 思春期からの過度な痩身の予防対策 エ 職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進 オ 地域における健康づくりの推進	●	●	●	
	<b>食の安全に関する信頼の構築</b>	ア 食品表示の適正化の推進 イ 食の安全に関する情報提供や意見交換 ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進 エ 食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発		●	●	●
	 食を通して豊かな心を育むために	<b>食を楽しむゆとりの確保</b>	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成 イ “おうちでごはんの日”の実践促進 ウ 高齢者の孤食対策等	●	●	●
		<b>体験や交流を通じた食の理解促進</b>	ア 乳幼児期における食とのふれあい機会の確保 イ 少年期における食に関する体験等の充実 ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供	●	●	●
		<b>食文化や食事作法等の理解と継承</b>	ア 子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解 イ 給食における地産地消や郷土料理等の導入促進 ウ 伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承 エ 高齢者による食事作法や食文化の地域内継承	●	●	●
	 食を通して環境に優しい暮らしを築くために	<b>食生活における「もったいない」意識の浸透と実践</b>	ア 子どもに対する環境負荷軽減の学習 イ 環境に配慮した食生活の実践 ウ 外食時における食べ残し減量策の促進	●	●	●
		<b>農林水産業への理解と地産地消の一層の推進</b>	ア 生物多様性の保全など農林水産業の役割への理解促進 イ 子どもに対する地産地消の理解と利用の促進 ウ 青年期以降における地産地消の実践 エ 生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実現		●	●
		<b>農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底</b>	ア 農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用 イ 食品関連事業者における食品廃棄物の削減 ウ フードバンク活動の普及啓発			●
 食育を支える取組	<b>食育にかかる人材の育成と活動の充実</b>	ア 保育・教育機関における推進体制の充実 イ 社会人を対象とした推進体制の充実 ウ 愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実 エ 食育に係る多様な人材の育成と活動の促進 オ 食育推進資材の作成や調査・検定の実施	●	●	●	
	<b>関係者の役割分担とネットワークの充実</b>	ア 地域食育推進支援会議の開催 イ 地域の活動主体同士の連携企画の促進 ウ 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有 エ 食育に関する情報発信の充実		●	●	
	<b>いいともあいち運動の推進</b>	ア 運動の認知度の向上 イ 協働活動の充実 ウ 県産農林水産物の利用拡大			●	



## Ⅱ 主な取組の状況

### 1 食を通じて健康な体をつくるために



幼児期から高齢期にいたるまでライフステージに応じた「バランスのとれた規則正しい食生活の実践」、子どもの肥満予防や思春期からの過度な痩身の予防、職場等での健康指導など「生活習慣病や過度な痩身等の予防」、及び「食の安全に関する信頼の構築」に取り組みました。

#### (1) バランスのとれた規則正しい食生活の実践

栄養バランスのとれた規則正しい食習慣を身につけることは、健康な体を作るための基本であり、各ライフステージでバランスのとれた規則正しい食生活の実践に取り組みました。

### 節分における乳児の食育活動

名古屋市立東志賀保育園

●実施時期：平成 26 年年 2 月 3 日

●対象者：保育園児及び保護者

#### ●内容

0 歳～2 歳児の園児たちが、日本の伝統行事である節分を楽しみました。乳児なので、視覚でよくわかる食育活動はできないかと考え、午後のおやつに、節分にちなんだ“鬼おにぎり”を作りました。おかかご飯やあられなど、身近な食材で作った“鬼おにぎり”に大喜びの子どもたちでした。

保護者にもぜひ知ってもらいたいと、鬼おにぎりのレシピを写真と共に掲示しました。つのをあられでなく人参で作るなど違うパターンの作り方も紹介することができました。



#### ●活動の成果、今後の課題

乳児にもイメージしやすいものだったので、会話を楽しみながら食事をすることができました。また、写真があることで保護者にも伝わりやすく、声をかけると掲示を見に行かれる保護者がたくさんいました。今後も乳児にもわかりやすく、食への興味を持てるような活動を考えるとともに、保護者にも発信していきたいと思えます。



〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉

〈取組場面：保幼〉



●実施時期：通年 ●対象者：全学年

●内容

2年生では生活科で、夏野菜・冬野菜を育てる授業を行いました。自分たちで野菜を育てることの大変さを知り、育っていく野菜に愛着や喜びを感じることができました。出来た野菜は収穫して食べ、食への関心を高めることができました。

6年生では家庭科で、食事について考える授業を行いました。

1食の食事のバランスや栄養価を考えて、家族みんなが喜ぶ食事を作り、食の大切さを知ることができました。

学校全体では、児童が食について関心をもてるように、月ごとの給食目標のポスターを作成し、校内2か所に掲示したり、給食への関心を高めるようなポスターを作成し、廊下に掲示したりするなどの啓発活動を行いました。

また、給食完食賞を作り、給食を残さず食べることで、給食の大切さを知り、給食を作ってくれる方々に感謝の気持ちを育てる活動も行いました。

●活動の成果、今後の課題

食育についての各学年の実態や教育課程に即した食の授業は、創意工夫が見られ、身近な食への興味を大きくし、児童の興味・関心を高めるためのアピールになりました。特に2年生では、収穫した物を家庭に持ち帰り、家庭での食育にもつなげることができました。校内での啓発活動も含めて、今後も続けていきたいです。



〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の充実〉

〈取組場面：学校〉

小学校出前講座

大府市健康づくり食生活改善協議会

●実施時期：平成26年1月16日 ●対象者：小学4年生

●内容

子どもたちの食育のため、学校と連携した活動がしたいと考えていたところ、地元の神田小学校より依頼があり、4年生72人を対象に出前講座を行いました。当日は、学校公開日のため保護者の見学もありました。

当日は、朝ごはんやおやつとして活用してもらえよう、愛知県栄養士会のレシピから大根餅を紹介し、調理実習や試食をしました。

●活動の成果、今後の課題

子どもたちが自分で体験したこの講座で、食の大切さや調理の面白さを感じとり、日頃の食生活を大切にすることにつながればと感じています。



〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の充実〉

〈取組場面：学校〉

## 小中学校でのこころとからだの健康教育

公益財団法人 愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期： 通年

●対象者： 小中学生・保護者・教員

### ●内容

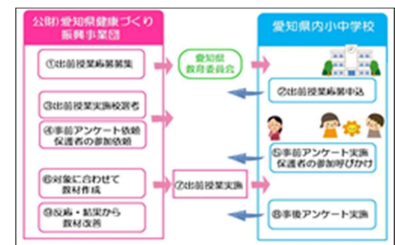
あいち健康プラザでは、健康で望ましい生活習慣を実践する動機づけを図るために、愛知県内の小中学校と連携して出前健康教育を実施しています。

内容は、食事、運動、睡眠、こころなどの項目から、学校側の要望に応じて企画しています。食事については、朝食の重要性、食事バランス、おやつとり方などをテーマにしており、平成25年度は、43市町村の小中学校51校、14,407人に出前健康教育を実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

児童生徒を対象とした実施後アンケートでは、小学生4～6年生で96.5%、中学校1～3年生で92.5%がわかりやすかったと回答がありました。教材は、学校からの評価や児童生徒の反応を基に改善を繰り返しています。

今後は、新たなテーマの教材開発、新たな世代を対象に健康教育を広めたいと考えています。



(取組項目：学校における小中学生への食に関する指導の充実)

(取組場面：学校)

## 「親子で早寝、早起き、朝ごはん」

岡崎市立河合中学校PTA

●実施時期：平成25年11月

●対象者：生徒75名とその保護者

### ●内容

本取組は、二年目を迎えます。11月の1か月間、「親子で早寝、早起き、朝ごはん」運動に取り組みました。実施後のアンケート調査では、「親子で朝食」の取組は、53%の家庭が一緒に食事ができました。また、「健康を意識した朝ごはん」への取組は、「できた」と回答した家庭が86%と高い値でした。これは、健康に対する意識の高さを示すものであり、食事を摂るだけでなく、食事をする時間や栄養バランスのよい朝食への気遣いがうかがえました。

### ●活動の成果、今後の課題

保護者からは「朝食中に会話をすることで一日の始まりが楽しくなった。」と回答がありました。全生徒が朝食を作る試みも行われ、親子共に朝食への関心は高まりました。しかし、親子で朝食を食べられなかった家庭が47%あり、家族の生活パターンの違いをどのように克服し、親子で一諸に食事ができるかが大きな課題です。



(取組項目：小中学生の食育のための家庭への支援)

(取組場面：学校、地域)

## 学校食育資料(高校生向け資料)を活用した高等学校等における食育

愛知県

●実施時期：平成25年12月～ ●対象者：県立学校高校生、特別支援学校高等部生徒

### ●内容

生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育むために、小・中学校からの食育を継続して高等学校での食育を推進するための資料を作成しました。

毎日バランスのよい朝食を食べる習慣を身に付けることを目的に、間食、夜食、ダイエットをとりあげ、高校生が自分の課題として取り組むことが出来るようにした資料を愛知県内全県立学校の高校生及び特別支援学校高等部生徒に配布し、ショートホームルームや授業等の時間に活用しました。



### ●活動の成果、今後の課題

家庭科、保健体育科等の教科やホームルーム活動や生徒会活動等、各学校の実態に併せた活用で、生徒が自分の食生活を振り返るきっかけや食に関する授業につなげることができました。12月の配布であったため、授業等で生かしきれなかった反省から、今後は年間計画に盛り込み、活用できるような周知を予定しています。



〈取組項目：高校における食育の充実〉

〈取組場面：学校〉

## 健康感じる弁当の提供

大府市、大府市内飲食店

●実施時期：平成25年6月1日 ●対象者：市民

### ●内容

市民の方の健康づくりに役立ててもらうことを目的に、市と市内飲食店が一緒になって、不足しがちな野菜をたっぷり盛り込んだ「健康感じる弁当」を開発しました。

市内飲食店に呼びかけたところ4店が名乗りを上げ、以下の3つの条件のもと、4つの「健康感じる弁当」が誕生しました。

①野菜を200g以上使用。②市の管理栄養士が監修。③各お店の技と知恵に健康をプラス

6月1日に開催したおおぶWELL 噛む健康祭にて、各店50食を提供しました。このお弁当を食べることで野菜をしっかりとることを体験し、日々の食生活の参考にしていただくことを期待します。



### ●活動の成果、今後の課題

市内飲食店の健康を意識した飲食の提供や、市民の方が野菜をしっかりとる意識づけの機会となりました。

健康祭終了後も継続販売可能な飲食店と継続が難しい飲食店があり、市民の皆さんが日頃から気軽に利用できる、健康を意識した飲食店制度を検討しています。今後は制度化を実現できるよう、様々な課題解決が必要です。



〈取組項目：青年期以降における健全な食生活の実践の支援〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：平成25年度 偶数月 ●対象者：母親（両親学級）に参加している妊婦

## ●内容

母親教室（全4回）の第2回目に、妊娠中の食生活についての講義と調理実習を行っています。妊娠期の食生活が胎児に与える影響やこの時期に特に気をつけたい食生活について学ぶ講話と、実際に調理し、食べることで、自分の適量やバランス、味付けについて学び、食生活を見直す機会を持つとともに、今後母親として、離乳食づくりや家庭の食事に役立てることを目的に実施しています。

## ●活動の成果、今後の課題

教室に参加された方は、「こんなに普段ご飯は食べてない」「野菜がいっぱい」などの声があがっており、実際に食べることで普段の食生活の見直しができています。今後は、妊娠前の若い世代から食の正しい知識をもち、健康な子どもを生ま育てられる体づくりの大切さを啓発する必要があると感じています。



〈取組項目：「妊産婦のための食生活指針」の推進〉

〈取組場面：地域〉

# 60歳からの栄養・健康教室

●実施時期：平成25年6月 ●対象者：60歳以上の市民

## ●内容

食事を通して栄養や健康について関心を持ってもらおうと、60歳以上の市民を対象に栄養・健康教室を開催しました。健康やバランスの良い食事について管理栄養士などが講話を行い、食や健康について理解を深めました。

その後、食生活改善推進員の指導の下、調理実習で簡単にできるメニューに挑戦し、参加者全員で食べることで、食生活への関心を持ってもらうことや、料理をすることに興味を持ってもらいました。

## ●活動の成果、今後の課題

参加者の方からは、「今まで料理をすることがなかったが、今後は挑戦したい」などの感想が聞かれました。

これからも、食生活に関心を持ち、自分で調理をするきっかけになる活動として、またコミュニケーションを取りながら作る楽しさや食べることの大切さを感じてもらおうように取り組んでいきたいと思ひます。



〈取組項目：高齢期における食による健康維持の推進〉

〈取組場面：地域〉



## (2) 生活習慣病や過度な痩身等の予防

生活習慣病を予防するため、若年期からのメタボリックシンドロームや思春期からの過度な痩身について、食生活の改善や歯の大切さなどの食の視点を中心に予防対策を推進しました。

### 子どもの健康な体作り

津島市立津島幼稚園（国公立幼稚園長会）

●実施時期：平成 25 年 11 月 6 日、12 月 12 日

●対象者：園児

#### ●内容

津島市立津島幼稚園では、市の歯科衛生士を招いて歯磨き指導や、よく噛んで食べること、おやつの時間や量を決めて食べることなどを教えていただきました。

また、食育推進ボランティアの方々からは、体を大切にする話や、「食まるファイブ」と一緒にバランスのよい食生活をしようと、りきまる（黄）、肉丸（赤）、ベジまる（緑）、ほねまる（白）、フルーツまる（紫）の食品クイズを交えながら楽しくバランスのとれた食生活についての話を聞くことができました。

肥満の防止や小児生活習慣病の予防につながる食生活の大切さを知る良い機会となりました。

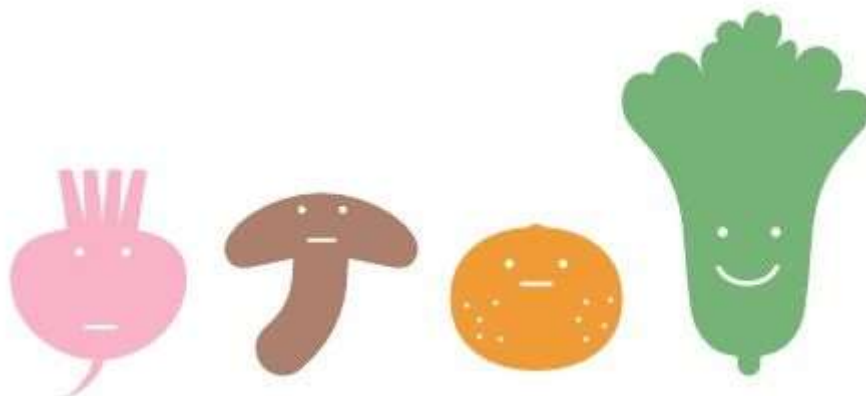
#### ●活動の成果、今後の課題

子どもたちは、「好き嫌いしないで、なんでも食べるんだよね」「そうそう、良く噛んでね」と歯科衛生士の方やボランティアの方々から指導していただいたことを思い出しながら給食を食べています。また、家庭にも食生活の大切さ、肥満の防止・小児生活習慣病の予防などの意識を高めていけるように働きかけ、今後も園と家庭で子どもの健康な体作りを進めていきたいです。



〈取組項目：子どもの肥満予防等の推進〉

〈取組場面：保幼〉



## 保健師を招いた歯みがき指導とうがい

名古屋市立楠西幼稚園(国公立幼稚園長会)

●実施時期：平成25年6月～翌年3月

●対象者：4、5歳児

### ●内容

歯を大切にする意識を高めるため、6月に保健師と歯科衛生士を招き、食事の大切さについて紙芝居を見たり、歯ブラシのブラッシングの仕方を知って実際磨いたりする指導を受けました。

虫歯が多い傾向にある本園では、虫歯予防のために、平成25年度からフッ化物洗口も行っています。食後、口をきれいにした後で、担任の管理のもと、音楽に合わせて2分間フッ化物薄め液のうがいに毎日取り組みました。



### ●活動の成果、今後の課題

日ごろから保護者にも歯の大切さについて伝えること、園児との生活の中で毎日食べたら歯を磨く、うがいをするという習慣づけを園から発信していくことで、次第に歯の健康への関心が高まってきました。今後は、入園前の保護者にも啓発していきたいと思います。



〈取組項目：歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進〉

〈取組場面：保幼〉

## 望ましい体格を知るためのリーフレットの作成、及び配布

小牧市保健センター 健康日本21こまき計画「栄養・食生活」部会

●実施時期：通年

●対象者：小学5年生、中学1年生

### ●内容

子どもの肥満、やせに対するアプローチとして、健康日本21こまき計画「栄養・食生活」部会で検討を重ね、子どもの健康に対する興味、意識を高めるきっかけづくりとなるように、「夢をかなえたいあなたへ」という題名で、どの職業でも健康な体が必要であり、そのためには①自分の体を知る(BMI)、②適切な食事の目安量、バランスのとれた食事を知る、③体格別のアドバイスを知るといった内容のリーフレットを市内全小学5年、中学1年生に対して配布、さらに、1か月後にアンケートを実施しました。アンケート対象は、各学校各学年1クラスとその学年の担任全員を対象として、1か月後もリーフレットの内容を覚えているか、意識、行動に変容が起こったかを検証しました。



### ●活動の成果、今後の課題

アンケート結果では、1か月後に内容を覚えている割合が高く、日常生活意識の改善もみられ、配布による「意識付けのきっかけとする」目的は達せられていると考えられました。しかし、ダイエットを希望する項目については配布前後で大きな意識変化はみられませんでした。約6割の先生が健康の重要性などの声かけをされ、子どもたちもしっかり見聞きしていたとのこと。平成24年度より2年続けて配布したことにより、先生方の理解も得られてきたと感じています。今後はより効果的な配布方法、時期を設定したいです。



〈取組項目：思春期からの過度な痩身の予防対策〉

〈取組場面：学校〉

●実施時期： 通年      ●対象者： 特定給食施設等

●内容

健康増進法に基づき、特定給食施設（特定多数の者に対し継続的に1回100食以上または1日250食以上提供する施設）等に対し、保健所が巡回指導を行っています。

愛知県の20～60歳代男性の約4人に1人が肥満傾向であり、年々悪化していることから、平成25年度は、20～60歳代男性の肥満者の割合の減少を重点目標とし、事業所への巡回指導の強化を行いました。

●活動の成果、今後の課題

保健所での巡回指導の結果（指導件数や給食施設の好事例）は、平成26年度の指導に活かします。

■指導件数： 798件

■好事例： 野菜バイキングコーナーの設置

味噌汁と減塩味噌汁の2種類の提供  
健診データからの栄養目標量の算出



〈取組項目： 職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進〉

〈取組場面： 職場〉

もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト

一般社団法人 愛知県歯科医師会

●実施時期： 平成25年5月～8月      ●対象者： 県民

●内容

生涯おいしく楽しく食べるためには、歯や口が健康でよく噛んで飲み込めることが重要であることから、栄養バランスを考慮した「よく噛んで食べるように工夫を凝らしたオリジナルレシピ」作品を募集し、平成25年12月1日(日)に開催された第34回愛知県学校歯科保健研究大会の中で優秀作品を表彰しました。

（金賞作品のレシピは愛知県歯科医師会ホームページに掲載しています。 <http://www.aichi8020.net/>）

■入賞作品： キッズレシピ部門・高齢者部門・地産地消部門  
金賞各1作品、銀賞各2作品

■共 催： 公益社団法人愛知県栄養士会、愛知県教育委員会

■後 援： 愛知県農林水産部食育推進課、中日新聞社、一般社団法人愛知県歯科技工士会、公益社団法人愛知県歯科衛生士会

■協 賛： イチビキ(株)、(株)モリタ

●活動の成果、今後の課題

平成25年度より愛知県教育委員会にこの事業を理解していただき、県下の学校に通知して頂いた結果、多くの児童・生徒より応募がありました。また県下の栄養や調理に関する学校や組織にも案内をしました。

お口の健康があって全身の健康があることは、県民にも理解されることと思いますので、今後さらに医療関係や食品関係にも、本事業周知の展開を考えています。



〈取組項目： 地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面： 地域〉



### (3) 食の安全に関する信頼の構築

食の安全に関する正しい知識と理解を深め、安心して健全な食生活を実践できるよう、食品表示や食品の安全性確保のための対策などについて、情報の提供や意見交換などを行い、食の安全に関する信頼の構築に取り組みました。

#### 食品表示制度について研修会を開催

愛知県

●実施時期：平成25年10月      ●対象者：食品関連事業者

##### ●内容

平成25年10月、名古屋市及び岡崎市で、食品関連事業者の方々を対象として、食品表示に関する研修会を開催しました。

研修会では、食品表示に関する法律の基本的な事項を説明するとともに、愛知県が実際に事業者の方々とは接する際、よく確認する不適正な事例を紹介しました。

また、講義だけではなく、演習問題を参加者の皆さんと一緒に考え、食品表示に対する理解を深めました。



##### ●活動の成果、今後の課題

参加者の方からは、「食品表示について再確認するきっかけになった」、「具体例を交えた内容で良かった」などの感想がありました。

食品表示は消費者が商品を選択するための大切な情報源です。今後も、食品表示制度の理解が深まるように取組みたいと思います。

〈取組項目：食品表示の適正化の推進〉

〈取組場面：地域〉

#### 食品衛生の専門家「ハサップ博士と行く、食品衛生ミステリーツアー」

愛知県、厚生労働省・東海北陸厚生局、森永乳業株式会社 中京工場

●実施時期：平成25年8月9日      ●対象者：県内在住の親子13組

##### ●内容

愛知県では食に関する正しい知識を深めてもらうため、親子参加型の工場見学を実施しています。平成25年度は、県内の製造工場に御協力いただき、乳製品ができるまでを見学しました。

紙パックや瓶製品の牛乳製造ラインを見学し、食品製造施設が行っている安全な食品を製造するための取組について学習しました。

また、手洗いの方法についても学習し、実際に手を洗い、洗い残しの有無について手洗いチェッカーを用いて確認しました。

URL：<http://www.pref.aichi.jp/cmsfiles/contents/0000064/64041/2013risukomihoukoku.pdf>



##### ●活動の成果、今後の課題

実際に製造現場を見ることで、食に対する知識や理解を深めることができました。

また、普段は行わない手洗い後のチェックをすることで、楽しく学ぶことができました。

参加者からは「衛生管理に気を配っていることに感心した」、「手洗いはやっているつもりでもなかなか洗えてない」といった感想をいただきました。



〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉

〈取組場面：地域〉

## 漬物技術研究会における講演

愛知県、公益社団法人 愛知県漬物協会

●実施時期：平成26年3月5日 ●対象者：漬物製造業者、関連業者

### ●内容

愛知県では食品製造施設において、HACCPの優れた手法を利用した衛生管理システムを導入することを推進するため、講習会等を実施しています。平成25年度は、公益社団法人 愛知県漬物協会からの依頼もあり、漬物製造業者及び関連産業に従事される方を対象にHACCPの考え方について講演しました。

講演内容として、HACCPシステムとは何かという基本的な話から始まり、特に厳重に管理する必要がある工程の決定方法等について説明しました。

### ●活動の成果、今後の課題

HACCPに基づく工程管理を導入した場合、愛知県では「愛知県HACCP導入施設」として知事が認定しています。HACCPに基づく工程管理を導入する利点などについて質問を受け、参加者が興味を持てたと感じました。

愛知県HACCPの新規導入施設数が低迷する中、講習会等を通じて新規導入施設を増やしていきたいと考えます。



〈取組項目：安全に関する自主管理と情報開示の促進〉

〈取組場面：地域〉

## 福祉医療公開講座「生きながら生まれ変わる」

一般社団法人 愛知県薬剤師会

●実施時期：平成25年10月20日 ●対象者：県民

### ●内容

一般県民を対象に、名古屋駅前のウインクあいち大ホールで開催した福祉医療公開講座において、愛知県薬剤師会常務理事による「薬剤師が話す食育の話5」と題して、日々病気と向き合っている職業である薬剤師として「食と疾病」の観点から、食の機能を分かりやすくスライドを用いて講演しました。

また、食育について、栄養のバランスやメタボリックシンドローム対策について考えたり、「薬食同源」の考え等を解説したプリントも配布しました。

### ●活動の成果、今後の課題

この公開講座は、厚生労働省を始めとして日本薬剤師会、各都道府県薬剤師会が主催する「薬と健康の週間（10月17日から23日まで）」に合わせて本会が毎年開催する公開講座で、好評のためシリーズ5年目となっています。継続して実施することにより、食育・健康食品・医薬品に関心を持っていただくよう今後も努めていきます。



〈取組項目：食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発〉

〈取組場面：地域〉

## 2 食を通じて豊かな心を育むために



家族や友人と楽しみながら食事をとることや、様々な農作業体験、調理実習といった体験や交流を通じて食に対する理解を深めるとともに、地域に伝わる郷土料理、食事作法等を継承するための取り組みを行いました。

### (1) 食を楽しむゆとりの確保

家庭、学校、職場などで、会話をしながら楽しく食べることは、心のいやし・心の安定をもたらします。このため、家族や友人と食事をとることのできるゆとりの確保に向けた取組を行いました。

## 学校で食べる給食っておいしいね

知多市立梅が丘幼稚園（国公立幼稚園長会）

●実施時期：平成25年10月 ●対象者：園児（年長）

### ●内容

梅が丘幼稚園では食育の年間計画を立て、主に年長児が畑で野菜を育てたり、近隣の小学校と交流をしたりしています。

その一つに給食交流会があります。その日の給食に入っている食材について小学校の栄養士さんから話を聞いたり、配膳の様子を見た後、1年生の児童と一緒に給食を食べました。野菜の多さに戸惑う幼児もいましたが、みんなで同じものを食べる経験を通して、いろいろなものを食べてみようとする気持ちにつながりました。

### ●活動の成果、今後の課題

当園では家庭から弁当を持参していますので、好きな物が入っていることが多く、栄養面で偏りが見られることもあります。小学校の給食では野菜がたくさん使われていることを知って、おうちの方が一つは苦手なものを弁当に入れてくださるようになります。

就学への期待にも繋がるため、今後も継続していきたいです。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

## みんなで食べよう！ “おうちでごはんの日を呼びかけ”

愛知県

●実施時期：平成25年11月19日 ●対象者：県民

### ●内容

愛知県では、国が定めた「食育の日(毎月19日)」を「おうちでごはんの日」とし、家族や友人と食卓を囲む大切さを啓発しています。

平成25年度は、金山総合駅において、関係部局が「育」と「19(イク)」をかけて連携した「育19キャンペーン」で、駅を利用する社会人や学生に向けて、早めに帰宅し、家族や友人と一緒に楽しく食卓を囲むよう呼びかけました。

### ●活動の成果、今後の課題

朝の通勤、通学時に呼びかけることで、県民のみなさんに仕事の進め方を見直し、家族や友人と食卓を囲むことの大切さを伝えることができました。また、各部局が連携することで、子育てやワーク・ライフ・バランスなども踏まえた呼びかけをすることができました。



毎月19日は「おうちでごはんの日」



〈取組項目：“おうちでごはんの日”の実践促進〉

〈取組場面：地域〉

## みんなでお父さんにごはんを作ろう！

あいち食育サポート企業団

●実施時期：平成 25 年 6 月 ●対象者：親子

### ●内容

「父の日」をテーマとして「あいち食育サポート企業団」のオリジナルレシピを開発し、愛知県内のショッピングセンターのアピタ 3 店舗でレシピの調理体験イベントを行いました。

調理体験を通じて、栄養バランスの大切さと料理を作ることの楽しさを伝えるとともに、「いただきます・ごちそうさま」の由来についての紙芝居を行い、普段何気なく食べている食べ物が、実はとてもありがたいものであることを学んでいただきました。

調理体験でつくった料理は、最後には参加者ご自身で食べて頂きました。

企業団ホームページアドレス

<http://aichishokuiku-support.info>

### ●活動の成果、今後の課題

イベント終了後のアンケートでは、「食育について考えるきっかけになった」等のご意見を多く頂きました。今後はより多くの方に参加して頂けるように、実施店舗数を増やすなどの取組みを検討していきたいと考えています。



〈取組項目：” おうちでごはんの日 ” の実践促進〉

〈取組場面：地域〉

## ふれあい昼食会

一宮市健康づくり食生活改善協議会

●実施時期：平成 25 年 6 月 ●対象者：高齢者

### ●内容

1 人暮らしの高齢者を対象に地域の公民館などでバランスのよい手作りのお弁当と一緒に食べるふれあい昼食会を開催しました。

昼食会では、高齢者のお食事、食事バランスの大切さなどを、パネルを使用してお話ししました。

### ●活動の成果、今後の課題

ふれあい昼食会は、毎年さまざまな公民館で開催されています。みんなで食事を食べることで、どうしても孤食になってしまいがちな 1 人暮らしの高齢者が地域の同じ境遇の人とこの昼食会を通じて触れ合うことができます。

木曽川地区中心の活動なので、今後は少しずつ、一宮市全域で開催していければと思います。



〈取組項目：高齢者の孤食対策等〉

〈取組場面：地域〉



## (2) 体験や交流を通じた食の理解促進

食べることへの感謝の心を育てるため、家庭・地域・学校等において、自ら料理をする機会を増やしたり、作物の栽培や収穫物の調理体験、生産者との交流など、体験や交流を通じた食の理解促進に取り組みました。

### 栽培・収穫・クッキングなど実体験を通じた食とのふれあい

安城市立桜井保育園、美土里保全会

●実施時期：平成25年6月～11月 ●対象者：園児

#### ●内容

当園では、河川敷余剰地に美土里保全会の方とサツマイモの栽培をしました。苗を植えるための畝作り（芋倉作り）やマルチ張りなど段取りされた畑に芋づるを一人一本、挿しました。水やり、草取りなどの世話をし、秋には保全会の方と芋掘りをしました。その後、もみがらを燃やし、焼き芋をしました。もみの中から出てきたホクホクの焼き芋を頬張りました。残りは、茶巾絞りにしました。蒸かした芋をつぶしてラップで絞りおやつにしました。家に持ち帰り、天ぷらなどにしました。



#### ●活動の成果、今後の課題

芋がどのように栽培され、どんな食べ方があるのかに興味を持たせ、実体験を通して知ることができました。教えてくださった保全会の方に感謝し、収穫物を利用し、一緒に食すことで連携をとるきっかけができました。今後も栽培・収穫・クッキングのアドバイスをもらいながら、芋の他にも食を通してふれあいたいです。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域・保幼〉

### 野菜の栽培と稲作の体験

認定こども園 岩滑こども園

●実施時期：平成25年5月～10月 ●対象者：年長児

#### ●内容

当園では、近隣の半田農業高校の協力を得て夏野菜や稲作の栽培体験をしています。園児に野菜アンケートをして育てる野菜を決め、植え付けから世話、収穫までを体験し、収穫した野菜は給食の材料として味わいました。稲作は土作りから始め、白米黒米もち米をたらいに植え、稲刈りから精米までを高校生の協力のもと経験しました。出来上がったお米は子どもたちがとぎ、水加減を見て炊飯し、自分達でおにぎりを握っておいしくいただきました。



#### ●活動の成果、今後の課題

自分達が愛情をもって育ててきた野菜には親しみが持て、苦手だった野菜でも食べてみようという気持ちが生じたり、お米になるまでの過程を知り残食が減ったりしたように思います。今後も農業高校と連携しながら、栽培から収穫の体験を続けていくとともに園便りを通して家庭での食育につなげていきたいと思っています。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域・学校〉

●実施時期：平成25年5月～翌年2月

●対象者：西尾市内小学校5年生

### ●内容

西尾市内15の小学校の5年生を対象に、稲づくりの農業体験授業を行いました。地域の稲作農家や農協職員が指導者となり、田植えや稲刈りの体験を通じて、農業や食文化に対して理解を育てるとともに、家庭においても米中心の日本型食生活を勧めています。

春の田植えでは、子どもたちは全身が泥んこになりながら田植えをし、秋には黄金色に色づいた稲を慣れない手つきで刈り取りました。

### ●活動の成果、今後の課題

田植えから収穫までの一連の体験を通じて、子どもたちは自然の恩恵やそれを育てる生産者の知恵と工夫を学ぶことができたと思います。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域・学校〉

## たべまるキャラ弁コンテスト

●実施時期：平成25年3月～6月

●対象者：市民

### ●内容

豊田市では食育キャラクター「たべまる」を活用した啓発をすすめています。

市民のみなさんが食育に関心を持ち、親子で楽しく食育に取り組んでいただくため、たべまるのキャラクター弁当を公募し、食育月間の6月16日に最終審査を開催しました。

赤（たんぱく質）、黄（炭水化物）緑（野菜）の揃ったお弁当であること、豊田市産の食材を1品以上使用していること等、難しい応募条件の中、様々な工夫を凝らしたたべまるのお弁当が揃いました。

#### 【実施内容】

- 1 開催日時 平成25年6月16日
- 2 開催場所 豊田市役所 栄養指導室
- 3 内容 たべまるキャラ弁コンテスト最終審査・表彰式

### ●活動の成果、今後の課題

コンテスト入賞作品を基にキャラ弁レシピ集を作成し、市内こども園訪問（たべまるの園訪問）の際に配布する予定です。また、市役所主催で親子キャラ弁教室を行います。



〈取組項目：少年期における食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

## 愛西市生涯学習講座の中の佐屋高校において開催する講座 「夏野菜の基礎知識」、「果菜類の基礎知識」

愛西市

●実施時期：平成 25 年 5 月 ●対象者：市民 20 人

### ●内容

愛西市では、県立佐屋高校にて、トマトやナス、ピーマンなどの果菜類の植え付けから収穫までの基礎知識を学ぶ講座を開講しています。

講座では野菜の細やかな育て方（土・肥料・水のこと）、収穫までの流れを聞いたり、畑での整枝・誘引や収穫体験などの実践も行いました。

また、実際に参加者にプランターに苗を植えてもらい、それをそのまま持って帰ってもらうという、家庭でも引き続き野菜が育てられるような講座を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

参加者からは、とてもいい勉強になった、自宅の家庭菜園の参考になった、などの声をいただいています。

実際に植え付けなどの体験をしてもらうことで知識・技術が広まるだけでなく、野菜づくりの面白さや収穫の喜びを体験してもらっています。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

## 食農体験講座「種蒔きからそば打ちまで」

豊川市、豊川市農業委員会

●実施時期：平成 25 年 8 月 30 日、11 月 23 日、12 月 14 日 ●対象者：市内小学生親子 10 組

### ●内容

豊川市と豊川市農業委員会の共催による取り組みで、耕作放棄地を解消するため農業委員自ら草刈や耕起を行い、再生した農地で、そばを題材とした食農体験講座を開催しました。

種まきからそば打ちまでを体験するこの講座は、パート 1 に種まき、パート 2 に刈り取りとそば挽き、パート 3 にはそば打ち体験をする 3 回で構成され、市内の小学生の親子 10 組が参加しました。そば打ちまでの工程を全て自分たちで行うという貴重な体験をしていただきました。

### ●活動の成果、今後の課題

講座の参加者を公募したところ即日で定員になる盛況ぶりで、実際に参加した児童からは、「大好きなそばがどのようにして作られているのかがよく分かって良かった」と評判も上々、「豊川市内でもそばが生育し、収穫できることに驚きました」などの感想をいただきました。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

### (3) 食文化や食事作法等の理解と継承

伝統料理などの地域の食文化への理解を促進し、継承に取り組むとともに、食物アレルギーへの理解、食事作法や所作の学びについても取り組みました。

## 子どもお抹茶会

知多市立東部幼稚園（国公立幼稚園長会）

●実施時期：平成26年1月 ●対象者：5歳児

### ●内容

知多市立東部幼稚園では、5歳児34人がPTA主催のお抹茶会に参加しました。茶道の心得のあるPTA保護者の方の指導のもと、茶道の心「人にも、ものにもやさしく」をテーマに子ども向けに分かりやすくお話ししていただきました。その後、実際に和菓子やお抹茶のいただき方、相手への勧め方など「お先にいただきます」「どうぞ」と声を掛け合い、相手を気遣う作法を体験しました。茶道の心、作法に触れる機会となりました。



### ●活動の成果、今後の課題

茶道の心得に触れる体験となり、いつもと違う緊張感を味わいながら、言葉遣いや姿勢、相手への気遣いを意識し、立居振る舞いをする機会となりました。今後も、このような日本文化、作法に触れる体験を大切にしていきたいです。



〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解〉

〈取組場面：保幼〉

## アレルギー食・多様な食文化への理解促進

刈谷市

●実施時期：平成26年1月～2月 ●対象者：幼稚園児、小中学生

### ●内容

刈谷市では、食物アレルギーに対する理解を図るために、紙芝居を取り入れています。イラストは小さい子向きですが、食物アレルギーに関する内容を網羅していますので、中学生にも読み聞かせをします。平成25年度は市内すべての幼稚園児・小中学生に読み聞かせをしました。

### ●活動の成果、今後の課題

子どもだけでなく先生にとっても初めて知ることがあり、食物アレルギーへの対応について学習することができました。来年度からは、新入園児・新入生を対象に実施します。



〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得や食の多様性の理解〉

〈取組場面：学校〉



●実施時期：平成 26 年 1 月 24 日～30 日      ●対象者：小中学生及び保護者

●内容

1 月 24 日から 30 日までの「学校給食週間」で岩倉市内産（ねぎ、みつば、だいこん、い〜わくん野菜コロケ、名古屋コーチン）や愛知県内産（キャベツ、みかん寒天、牛乳、れんこん、守口大根、米）の食材を取り入れ、また愛知県の郷土料理や学校給食の歴史を表す献立を実施しました。そして、その内容について献立表に掲載し、また給食便りを特別号として発行し小中学生に配布しました。

1 月 28 日には「ふれあい給食」として岩倉市長や市会議員、教育長と南部中学校の生徒と一緒に給食を会食しました。

●活動の成果、今後の課題

岩倉市のマスコットキャラクター「い〜わくん」からネーミングした「い〜わくん野菜コロケ」は、その献立名から子ども達の興味をひくものとなり話題となりました。

今後はい〜わくんの焼印が入った卵焼きを取り入れる計画を進めています。



〈取組項目：給食における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

●実施時期：平成 25 年 6 月      ●対象者：大治町児童生徒

●内容

6 月 19 日の食育の日を「愛知を食べる学校給食の日」に設定し、愛知県産の食品と共に、生産者組織「大治町地産地消学校給食会」から納入される、大治町産のにんじん、にんじんの葉、たまねぎを取り入れた献立を実施しました。事前に、当日使用するにんじんや、たまねぎ等の畑を、各校の給食委員会の児童生徒が訪れ、生産者から話を聞き、収穫体験を行いました。また、畑見学の様子をたよりや掲示物にして、地産地消の取組を全校に知らせました。

●活動の成果、今後の課題

畑見学に参加した児童生徒は、生産者の話を直接聞くことで、生産者の思いや苦勞を知り感謝の気持ちが高まりました。たよりや掲示物で紹介することで、全校の児童生徒に知らせることができましたが、今後は、より多くの児童生徒が直接生産者の話を聞く機会を増やしていきたいと思います。



〈取組項目：給食における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

●実施時期：平成 25 年 10 月 12 日 ●対象者：栄養教諭・学校栄養職員

### ●内容

J A 愛知中央会では、県下の栄養教諭・学校栄養職員を対象として、農産物の生産現場の視察、収穫体験等を行う研修会を毎年開催しています。参加者が体験・体感したことを子供達へ伝え、食の背景にある生産の現状や農産物の流通等について子供達に学んでもらうことや、地場産物を学校給食へ導入してもらうことが狙いです。

平成 25 年度は J A ひまわり管内（豊川市）のアスパラ農家、柿農家の圃場を見学し、収穫体験を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

「収穫したばかりのアスパラをそのまま生で食べられることにビックリした」等といった感想があり、栄養教諭・学校栄養職員の皆さんに新しい知識や経験を蓄えて頂ける有意義な研修会になりました。

学校給食で地元特産物を積極的に使って頂けるよう、今後もこのような研修会を開催していく予定です。



〈取組項目：給食における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

## ヘルシーセミナー『孫にも伝えたい伝統食（もち）』

公益社団法人 愛知県栄養士会

●実施時期：平成25年12月14日 ●対象者：祖父母と孫（または親子）

### ●内容

日本の四季は豊かな恵みをもたらし、季節の様々な行事は貴重な伝統食を生み出してきました。これら伝統食を子や孫へと継承するために、栄養教諭による講話「孫にも伝えたい日本の伝統食（もち）」と親子で花餅づくりと餅の試食を実施しました。搗き立ての紅白餅を準備し、作り方の説明と同時進行で、小枝に紅白のお餅を巻きつけて花餅の出来上がりです。最後はきな粉、おろし大根、餡の三つの味を楽しんでいただきました。

### ●活動の成果、今後の課題

18 組の皆さんにご参加いただき、日本の食文化を改めて見直す機会をご提供できたと考えます。「季節ごとの食文化を大切にしたい」「華やかな正月飾りができ嬉しい」などご意見をいただきました。

今後も本会は、栄養バランスがとれる「一汁三菜」の食形態を守るためにも、伝統食の啓発に努めていきたいと考えます。



〈取組項目：伝統料理、郷土料理等の提供促進と継承〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：平成 25 年 7～3 月      ●対象者：市民

●内容

毎年、市内広報で募集する「清須市農業体験塾」の事業の一環として、希望者に季節の漬物づくりの実習を平成 25 年度から始めました。

この事業では、特産野菜をはじめとした野菜の栽培、収穫体験をしています。平成 24 年度までは、収穫しておしまいでしたが、今年度は参加者の強い希望もあり、保存食（漬物）を教えてほしいということでした。

清須市には伝統野菜のかりもりがあります。かつて、かりもりの粕漬はこの地域（一場地区）でとても盛んでしたが、高齢化とともに漬ける人がほとんどいなくなってしまいました。

そこで、この伝統的な味を後世に伝えていくために、興味をもっていただけたらと思い事業の一環に組み入れました。

●活動の成果、今後の課題

この実習に参加したのは、体験塾塾生の中で希望者の 10 名ですが、非常に熱心に体験をしてもらうことができました。体験者の希望もあり、かりもり粕漬をきっかけに大根のたくわん漬け・白菜の漬物等にも取り組みました。

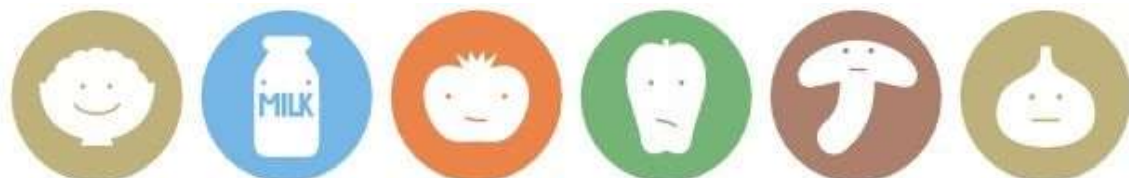
かりもりの粕漬は、手間暇をかけないと伝統野菜のおいしさを出すことができないので、他の漬物との違いを体感していただきました。

かりもりの粕漬は、手間暇がかかることから熱意のある後継者づくりにこれからも取り組んでいきたいと思えます。



〈取組項目：高齢者による食事作法や食文化の地域内継承〉

〈取組場面：地域〉



### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために



食べ残しや、農林水産業への理解と地域でとれる農林水産物を積極的に消費する地産地消を進めるなど、環境に配慮した食生活の推進に取り組みました。

#### (1) 食生活における「もったいない」意識の浸透と実践

食生活における環境への負荷の軽減のため、「もったいない」意識の浸透を図り、環境に優しい料理の実践促進に取り組みました。

### 給食における食べ残しを減らす指導

安城市立東栄幼稚園（国公立幼稚園長会）

●実施時期：平成 25 年 12 月

●対象者：幼稚園児

#### ●内容

東栄幼稚園の年長児を対象に、給食センターの栄養士の方から食材についての話を伺いました。給食は、こどもたちの成長にとって大切な栄養がぎっしりつまっていること、子どもたちが食べやすいように大きさ、形を工夫していること、旬の素材や安城で収穫された食材を使って調理していることなど、わかりやすく教えて頂き、栄養士の方たちの思いを知り、子どもたちは今まで以上に食材に対し、関心をもつことができました。



#### ●活動の成果、今後の課題

子どもたちから、「給食をいっぱい食べておおきくなるぞ」、「残さないで全部食べよう」などの声が聞かれ、食べ残しをしないという意識が高まってきました。これからも、食材や栄養、そして作っている人の気持ちも知らせながら食事指導を進めていきたいと思えます。



〈取組項目：子どもに対する環境負荷軽減の学習〉

〈取組場面：保幼〉

### エコ・クッキング講座

田原市

●実施時期：平成 25 年 10 月

●対象者：市内在住の小学生以上

#### ●内容

地域の農業や環境に対する理解を深めるとともに、エコライフの推進を図ることを目的として、エコ・クッキング講座を開催し、エコ・クッキングの説明と調理実習を行いました。

エコ・クッキングの説明では、クイズをしながら理解を深め、調理実習では、手軽にできる省エネのポイントを実践で学びました。



#### ●活動の成果、今後の課題

親子等 15 名が参加しました。参加者は複数の手順を同時進行し、エネルギー使用量を抑える効率的な料理法に挑戦したほか、買い物や後片付けを行う際にもエコを実践できる方法を学びました。

今後は、講座の開催だけでなく、広報紙やHP等を通して、家庭でのエコ・クッキングの実践・普及啓発に努めていきます。

※エコ・クッキングは東京ガス（株）の登録商標。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

## (2) 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

農林水産業が持つ多面的な役割などの正しい理解と身近な農林水産物の消費や利用を促進するため、学校や地域などで県内産農林水産物の積極的な利用促進に取り組みました。

### 田んぼアート

あいち尾東農業協同組合、名古屋産業大学、尾張旭市

●実施時期：平成 25 年 6 月～11 月

●対象者：尾張旭市民

#### ●内容

6 月 8 日に名古屋産業大学の学生、あいち尾東農協職員、尾張旭市職員、及び地元農業者で田んぼアートの田植えを実施しました。

平成 25 年度は緑、黒、オレンジの 3 色の稲を使用して市のイメージキャラクター「あさぴー」と「けんこうとし」の文字を描きました。

田んぼアートは農業を身近に感じてもらうこと、農地を保全することを目的として平成 22 年度から実施しています。



#### ●活動の成果、今後の課題

市民の方に農地や農業の大切さを啓発することができました。また、田植作業を通じて食の大切さを伝えることができました。

(取組項目：生物多様性の保全など農林水産業の役割への理解促進)

(取組場面：学校・地域)

### 学校給食への地場産物の活用

長久手市

●実施時期：平成 26 年 1 月 29 日

●対象者：長久手給食食材生産会の生産者、市職員

#### ●内容

長久手給食食材生産会※、産業緑地課、給食センターの 3 者で現状や問題点を話し合い、お互いの理解を深める機会として栽培会議を行いました。また、長久手市で作られた「真菜(まな)」を使った給食の試食や子ども達と生産者の交流も行いました。

さらに、毎月の献立表で地元産の食材の紹介等を行い、学期ごとに発行する給食だよりでは、生産者の方々の写真を載せる等の工夫をしています。

※平成 23 年度に学校給食用に市内で野菜を生産する任意団体として設立

#### ●活動の成果、今後の課題

給食を作っている様子の見学、給食ができるまでの説明を聞いていただき、給食の試食を行い、給食について理解していただく機会となりました。

今後もよりより多くの高品質の野菜を給食に使用するため、3 者による生産者会議を定期的で開催していきたいと考えています。



(取組項目：子どもに対する地産地消の理解と利用の促進)

(取組場面：学校)

●実施時期：平成26年1月29日

●対象者：成人

## ●内容

耕作放棄地対策としてNPO法人が管理を委託されていた土地（日進市）に梅の木が多数あり、その梅の活用について相談があったため、食環境プランニングで企画、コーディネートし、コープあいち日進店を会場に、地産地消型講習会を開催しました。

当日は、日進市で主な活動をしているNPO法人日進野菜塾により、名古屋、日進市周辺の耕作放棄地の実情、市民農園の取り組みについての話、内堀醸造による日進産小梅（日進野菜塾提供）を使用した梅サワーの実習、また食環境プランニング講師により、梅の栄養的特徴の学習と梅を活用したレシピ提案を行いました。

## ●活動の成果、今後の課題

広報では愛知県のHP食育ネットあいちでイベントの周知に協力していただきました。定員25名を大きく上回る応募を頂き、店舗を会場としたため当日は見学者も多数いらっしゃいました。

いろいろな店舗で開催する要望を頂き（名古屋市内など）今後対応していきたいと思っています。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

## 産官学連携事業 ミラクルGREEN

安城市農畜産物特産品協議会

●実施時期：平成25年7月～12月

●対象者：安城市民

## ●内容

愛知学泉大学家政学部の学生と協働し、安城市の農産物の消費拡大を目的とした飲料を考案し、地産地消を進めました。

具体的には、安城市特産のチンゲン菜を使用した飲料である「ミラクルGREEN」の試飲を市内産直センターや各種イベントで実施しました。併せて、栄養面の特徴を記載したレシピカード、ポスター、歌等も作成し、配布することで、飲料の普及をさらに推し進め、チンゲン菜の地元での消費拡大を図りました。

## ●活動の成果、今後の課題

安城市農産物の消費拡大のために様々な方法を検討しました。その結果、作成した飲料、レシピカード、ポスター、歌等はイベント等で高評価でした。

今後もレシピカード、歌、ホームページ等を活用し、PRを進めていきます。一過性のものではなく継続し、いかに定着させていくかが今後の課題となっています。



〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

●実施時期：平成26年2月1日

●対象者：コープあいち組合員

●内容

生産が盛んな碧南のにんじんの収穫体験をしながら、コープあいち組合員の親子が47名参加し、碧南の農業について学習しました。

にんじんを美味しく食べてもらおうと、生産者に調理指導をしていただき「にんじん蒸しパン」作りを体験しました。

また、搾りたてのにんじんジュースや、にんじんスティックで匂いの味を体験してもらいました。

●活動の成果、今後の課題

参加者からは、「食べることは、生きるうえで、とっても大切なことですね」、「自分で経験し、収穫、調理することで、食べることへの興味が増して、とても良い経験になりました」との感想が聞かれました。



〈取組項目：生産者と消費者の思いを伝える農林水産業の実現〉

〈取組場面：地域〉



### (3) 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

農林水産業における化学肥料や化学合成農薬の低減や資源循環の推進、食品産業における食品リサイクルの推進など、生産・流通する側も「もったいない」意識を持って環境への配慮に取り組みました。

## GAP（農業生産工程管理）手法の導入などによる環境に配慮した取組

愛知県

●実施時期：通年 ●対象者：J A 愛知西なす協議会

### ●内容

ナス生産者の出荷組織である J A 愛知西なす協議会は、平成 21 年作から環境への配慮と生産物の安全と安心の確保に向けた作業工程の管理のため、愛知県農産物環境安全推進マニュアル（愛知県版 G A P）を導入しています。生産者は G A P チェックシートに記帳することで自らの取り組みを振り返り、改善すべき点を明らかにできます。

平成 25 年度は国のガイドラインに合わせたチェック項目の見直しを支援しました。



### ●活動の成果、今後の課題

G A P 導入前は手間がかかって面倒なだけではないかという意見もありましたが、最近では、チェックシートへの記帳が未達成項目をできるように努力する励みになることと、自分たちの生産活動がきちんとした過程を経ていることの裏付けとなって良いという感想が出るようになりました。

〈取組項目：農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用〉

〈取組場面：地域〉

## 食品製造廃棄物の飼料化に向けて

愛知県

●実施時期：平成 25 年 6 月～翌年 3 月 ●対象者：食品製造業者

### ●内容

食品製造の工程で排出される残さを飼料として利用するエコフィードが注目されており、様々な食品加工残さを組み合わせた飼料への利用が期待されています。

このため、本県の食品残さの賦存量や処理実態について把握するため、酒造業者、味噌・醤油製造業者、製麺業者、豆腐製造業者、缶詰・飲料加工業者等を対象にアンケート調査を実施しました。

この結果、現在廃棄されている残さについても、保存方法や処理方法の工夫により飼料利用が可能であることが示唆されました。

### ●活動の成果、今後の課題

近年、食品の保存方法や処理技術は、発酵処理を始めとして様々な手法が開発されており、これらの技術を応用し、腐敗しやすい食品残さを飼料として有効利用することで、資源循環による環境への負荷軽減や畜産経営のコスト軽減などが期待されます。



〈取組項目：食品関連事業者における食品廃棄物の削減〉

〈取組場面：地域〉



## 4 食育を支える取組



食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

### (1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実

県民一人ひとりの主体的な取組がより効果的なものとなるよう、その取組を支援する人材の育成と活動の充実に取り組みました。

## 栄養指導

東郷町立東郷中学校

●実施時期：平成 25 年 10 月

●対象者：中学生

### ●内容

給食センターでは、栄養士養成校である名古屋学芸大学 管理学部から実習生を受け入れています。

平成 25 年度は、学生から栄養指導実習をしたいとの要望があり、中学 3 年生に対して給食を食べる意欲をもたせることを目的に、東郷町立東郷中学校において給食時間に栄養ミニ指導を実施しました。

当日は、10 月 31 日のハロウィーンにちなみ、かぼちゃを題材とした指導を 5 分程度実施しました。



### ●活動の成果、今後の課題

生徒はとても興味をもってよく聞いていました。その日の残菜もほとんどなく、食べる意欲をもたせることができたようです。学生からの栄養指導は生徒にとって新鮮で、とても興味をもちやすいと考えられるので、継続して実施していきたいです。

〈取組項目：保育・教育機関における推進体制の充実〉

〈取組場面：学校〉



●実施時期：平成 25 年 9 月      ●対象者：管理栄養士・栄養士他

### ●内容

保育園や幼稚園の給食における食物アレルギーや誤嚥などの事故防止等を目的に食の危機管理研修会を開催しました。

研修会は管理栄養士・栄養士だけでなく、保育園・幼稚園関係者にも参加いただき、食の危機管理に対する関心が高いことがうかがえました。食物アレルギーも誤嚥も大きな事故につながる危険性があり、給食をつくる管理栄養士・栄養士だけでなく、多職種で連携して危機管理を行う必要性を感じました。

### ●活動の成果、今後の課題

管理栄養士、栄養士だけでなく、保育士、保健師、看護師、幼稚園・保育園長など多くの職種の方々に参加いただき、大変盛況の内に終了しました。日進月歩する食物アレルギーなどの健康・栄養情報を習得するために、充実した研修会を開催していきたいと考えています。



〈取組項目：社会人を対象とした推進体制の充実〉

〈取組場面：地域〉

## 食育推進ボランティアの活動支援

愛知県

●実施時期：通年      ●対象者：愛知県食育推進ボランティア

### ●内容

愛知県では、地域で食育の推進活動を自主的に行う食育推進ボランティアを育成し、その活動を支援しています。

平成 25 年度は、食育推進ボランティアの活動を広げるため、金城学院大学と食育推進ボランティアが連携して活動を実施する仕組みを新たに整備し、その活動が円滑に行えるよう活動内容の検討や、仕組み作りの支援を行い、日進子育て支援センターや幼稚園などで、取組が実施されました。

### ●活動の成果、今後の課題

ボランティアと学生さんが連携して活動を実施することで、ボランティアは、活動人数が確保でき、安定した食育活動が実施できました。

また、学生さんは、学校で教わった内容を食育の現場で実践することができ、双方にとってメリットのある取組に繋がりました。

今後も、他団体等との連携を推進していきたいと思ひます。



〈取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

## 輝きネット・あいち技人認定式を開催

農村輝きネット・あいち

●実施時期：平成 25 年 8 月 28 日 ●対象者：輝きネット・あいちの技人認定者及び農村輝きネット・あいち会員

### ●内容

平成 15 年度から、これまでのグループ活動で培い、優れた農業及び暮らしの技術を持ち伝承できるネット会員を「輝きネット・あいちの技人」として認定しています。

平成 25 年度は、8 月 28 日に 11 回目となる認定式を愛知県立農業大学校で開催し、新たに 9 名を認定しました。認定式後、技人の先輩から認定開始の経緯や活動事例を学ぶ研修会が行われました。

### ○技人の技術の種類

- (1) 地域の伝統食・郷土食・行事食等農家の食事に関する技術
- (2) 農畜産物の加工に関する技術
- (3) 手工芸に関する技術（わら細工、竹細工、炭焼き等）
- (4) 農業生産及び作業に関する技術
- (5) その他農業・農村の暮らしを向上させる技術

### ●活動の成果、今後の課題

輝きネット・あいちの技人の認定者数は 224 名になり、味噌づくりやしめ縄づくりなどを地域住民に伝えたり、小学校等で子どもたちに農産物の栽培方法や伝承料理を教えるなど幅広い活動をしています。今後も技人の活躍を期待し、認定していきます。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

## 食育教材の開発

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：平成 25 年度 ●対象者：愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会会員

### ●内容

小学校 1 年生の食育指導のために、紙芝居「たのしいきゅうしょくがはじまるぞう！」を作成しました。内容は文部科学省から配布される「食生活学習教材」と関連して指導するために、同じキャラクターを登場させ、学校給食を通して食への関心を高め、より良い食習慣について楽しく学べるものです。栄養教諭・学校栄養職員が各学校で活用し、その後の食育指導に発展させていく計画です。



### ●活動の成果、今後の課題

本協議会では毎年、食育指導を効果的に行うための教材開発に取り組んでいます。作成した教材の活用場面、児童生徒の反応や担任との連携方法などを把握し、今後の作成に生かしたいと考えています。

〈取組項目：食育推進資材の作成や調査・検定の実施〉

〈取組場面：地域〉

## (2) 関係者の役割分担とネットワークの充実

地域に根ざした食育を効果的に推進するため、多様な関係者が各々の強みを活かし役割分担した上で、相互に連携して活動に取り組みました。

### 地域食育推進支援会議の開催

愛知県

●実施時期：平成25年6月28日 他 ●対象者：市町村、企業、地域の食育関係者等

#### ●内容

愛知県では、市町村、関係団体、学校関係者、食育推進ボランティア等からなる地域食育推進支援会議を開催し、地域における食育の関係者の連携を促進しています。

平成25年度は、尾張農林水産事務所始め7事務所で開催し、地域における食育推進の取組状況や今後の取組について話し合いを行いました。

また、地域ボランティア連携企画として、食育推進支援会議の参加者が地域のお祭りなどで野菜の手ばかりや紙芝居などの啓発活動を連携して行いました。



#### ●活動の成果、今後の課題

食育の実践を促進するためには、多様な関係者の連携や協力を図りつつ、その地域の実情に応じた取組を行うことが効果的です。

今後も、地域食育推進支援会議を通して地域の多様な関係者が連携するきっかけを作っていきたいと考えています。

(取組項目：地域食育推進支援会議の開催)

(取組場面：地域)

### 第21回知立市福祉健康まつり食育コーナー

知立市保健センター、食育推進ボランティアグループ米太郎、コープあいち、愛知県

●実施時期：平成25年10月20日 ●対象者：幼児、児童、保護者

#### ●内容

第21回知立市福祉健康まつりの食育コーナーにおいて、女性農業委員の食育推進ボランティアグループ米太郎による食育紙芝居（地元で採れた新鮮な野菜を食べよう）とコープあいちによる「食まるコーナー（食まると一緒にバランスチェック）」が開催されました。食育紙芝居では、農業のカミさま「ウーさま」の着ぐるみも登場し、子ども達を歓声の渦に巻き込むことができました。女性農業委員の調達した野菜の詰め合わせをプレゼントするとともに、食まるファイブの食事バランスチェックとあわせて、野菜をおいしくバランスよく食べることの大切さを子ども達に楽しく伝えることができ、大変盛況でした。



#### ●活動の成果、今後の課題

朝食のバランスチェックでは、「ウーさまの言うとおりに、地元の新鮮な野菜をおいしく食べたいね」と、親子で会話がはずみ、家庭の食事バランスの改善に向けた良い啓発ができたと思われました。農業者（米太郎）と消費者団体（コープあいち）が得意分野を活かして連携することができ、息の長い交流を続けていければ良いと思います。



(取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進)

(取組場面：地域)

## あいち食育いきいきミーティングを大学で初開催

愛知県

●実施時期：平成 26 年 2 月 15 日 ●対象者：大学生、地域の食育関係者等

### ●内容

食育への関心が低い若い世代を主な対象として、県内の大学と連携し、「あいち食育いきいきミーティング」を名古屋市内で開催しました。栄養学専攻生による実践事例の発表や、企業による取組報告、ディスカッションを通じて、若い世代の食の課題や実践のポイントを来場者も一緒になって考えました。また、食育推進関係者などを対象に、岡崎市でも同ミーティングを開催し、事例の紹介や意見交換を行いました。



### ●活動の成果、今後の課題

当日は、100 名を超える参加者があり、「若い世代に向けた実践促進」をテーマとして、学生や企業、地域の食育関係者と一緒に、お互いの意見を交えて課題を共有することができました。

特に、学生の学内外での活動の発表は若い世代の食育実践を促すための視点や手法を考える上で、とても参考になりました。

今後も、若い世代に向けた食育の実践促進を進めていきたいです。



〈取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進〉

〈取組場面：地域〉

## カウガールスクール

酪農教育ファーム認証農家 3 戸、愛知県酪農農業協同組合

●実施時期：通年 ●対象者：県民

### ●内容

県内に酪農教育ファーム認証農家が 18 戸あり、その中で有志 3 戸（豊田市久保田牧場・東浦町原田牧場・西尾市北村牧場）が手を上げ、発信力のある若い女性を募集し、1 年間（春夏秋冬の年 4 回）を通じて酪農を体験してもらいました。日時は農家と参加者でその都度決め、内容も各牧場で企画してもらい、それぞれに特色のある楽しいものとなりました。

原田牧場は地元保育園の新人保育士 2 名。北村牧場は知立東高校 2 年生の 2 人。久保田牧場は動物関係の専門学校卒業の同級生 3 人がカウガールとなって色々な体験に挑戦しました。牛舎作業、乳製品の製造、イベントのスタッフや乳製品販売の体験などがあり、そこに TV や冊子・新聞等の取材を入れて広報活動を行うとともに、カウガール達がそれぞれ Facebook 等で発信して愛知県の酪農を PR しました。

### ●活動の成果、今後の課題

予想以上のメディアが入り、愛知県の酪農を PR できたかと思えます。また参加者からも学校や職場で発信して頂きました。（保育士さんの勤務する保育園でイベントも行いました。）

反面、農家としてはカウガールの 2 名程度なら職場体験などの受け入れで慣れていますが、メディアの取材で牛がざわついたり、インタビューでペースが乱れました。対応の仕方の工夫が必要です。また、カウガールの募集を HP・地元ケーブル TV・新聞等で行いましたが、なかなか問い合わせがこなかったため、今後は検討が必要です。



〈取組項目：食育に関する情報発信の充実〉

〈取組場面：地域〉

### (3) いいともあいち運動の推進

県内の消費者と生産者が相互理解や交流を深めたり、地産地消をすすめることで、県民のみんなで県の農林水産業を支えていこうという、いいともあいち運動の推進に取り組みました。

## いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進

愛知県

●実施時期：通年 ●対象者：県民

### ●内容

愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」を広く県民の方々にアピールしていくため、いいともあいちネットワーク会員に対して、県産農林水産物を使った商品パッケージや梱包用の段ボール、包装紙などへ、運動のシンボルマークを貼付する取組を推進しました。

また、県のWEBページ「いいともあいち情報広場」にシンボルマーク商品情報を掲載し、シンボルマークを表示した商品について、広く県民にPRしました。

### ●活動の成果、今後の課題

平成24年度までに使用された339商品に加え、25年度は、県の育成品種である小麦「きぬあかり」を使用した生麺や県産大豆を使用した豆腐スイーツなど、新たに69商品にシンボルマークが使用され、合計408商品となりました。

今後も、シンボルマークの貼付を通して、いいともあいち運動の認知度向上に努めていきます。



〈取組項目：運動の認知度の向上〉

〈取組場面：地域〉

## いいともあいち魅力発信事業等による消費者への運動のPR

愛知県

●実施時期：平成25年8月～ ●対象者：消費者

### ●内容

多くの県民に全国有数の愛知の農林水産業や県産農林水産物の魅力を伝えるとともに、いいともあいち運動を認識・理解してもらうため、いいともあいち魅力発信事業を実施し、イメージソング「恋するレシピ」の作成やフェイスブックを開設し、情報発信を行いました。

また、いいともあいち運動を応援する消費者を対象に登録する「いいともあいちサポーター」制度を設置しました。

### ●活動の成果、今後の課題

イメージソングはHPで無料配信し、幅広く活用いただけます。フェイスブックは、平成26年1月末までに58「いいね!」を獲得し、合計5,384回表示されました。サポーターは平成26年3月末までに71会員の登録がありました。それぞれの機能の活用・継続と認知度への誘導が今後の課題です。



〈取組項目：運動の認知度の向上〉

〈取組場面：地域〉

## 地産地消・農商工連携ビジネスフェアの開催

愛知県

●実施時期：平成 26 年 2 月 ●対象者：地産地消に取り組む事業者

### ●内容

農林漁業者や食品製造事業者などが、県産農林水産物やその加工品を展示し、流通関係者等との商談や参加者相互の情報交換を行ない、新商品の開発や新たな販路の開拓に取り組む「地産地消・農商工連携ビジネスフェア」を、平成 26 年 2 月 3 日（月）に名古屋市中区のアイリス愛知で開催しました。

フェアには、82 の企業・団体が出展し、会場は 717 名の参加者でにぎわいました。また、10 企業が自社の取組や商品の紹介を行うプレゼンテーションを行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

フェアの開催に当たっては、事前に出展者と参加者に商談先の意向を聞き、その情報を提供しており、各ブースにおいて、熱心に情報交換や商談が行われました。その結果、平成 26 年 2 月末時点での商談件数は 271 件（H24：147 件）で、前年度に比べ大幅に増加しました。



〈取組項目：協働活動の充実〉

〈取組場面：地域〉

## いいともあいち推進店の登録推進

愛知県

●実施時期：平成 26 年 2 月 ●対象者：地産地消に取り組む事業者

### ●内容

愛知県では、県産農林水産物を積極的に販売する店舗及び食材として利用する飲食店を「いいともあいち推進店」として登録しています。

推進店では、県民が愛知の農林水産物を身近に感じることができるよう、いいともあいち運動ののぼりやステッカーを掲示し、県産農林水産物の販売・利用促進に取り組んでいます。

また、県の WEB ページ「いいともあいち情報広場」に推進店の情報を掲載し、広く県民に PR しました。

### ●活動の成果、今後の課題

平成 25 年度は、アオキスーパー、株式会社名豆食品など、新たに 26 店舗が登録され、合計 906 店舗となりました。

今後も、いいともあいち推進店の登録を通じて、県産農林水産物の利用拡大を推進していきます。



〈取組項目：県産農林水産物の利用拡大〉

〈取組場面：地域〉







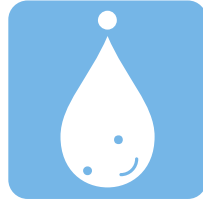
愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農林水産部食育推進課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 電話 052-954-6396(ダイヤルイン)

「食育ネットあいち」 <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>

表紙デザイン・監修/愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



Aichi Food Education Report  
2014

